

## 競技注意事項

1. 開催日及び受付時間 平成30年7月22日(日)・24日(火) 予備日25日(水)  
8時00分開門 8時30分までに受付
2. 会場 Shonan BMW スタジアム平塚
3. 規則 2018年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
4. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラムの誤記訂正は9時00分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届け出る。
5. 練習
  - ・競技場周辺及び雨天走路を使用する。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。なお、本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
  - ・公式練習 走高跳はバーをかけずに1回の助走練習と男子1m55、女子1m30の高さで1回の練習を認める。  
棒高跳は同一高さで2回までの練習を認める。ただし高さは2m90、3m50、4m00から選択する。
  - ・競技者以外の練習は認めない。
6. 招集
  - ・招集時間は トラック種目は 競技開始40分前～20分前まで  
フィールド種目は競技開始60分前～40分前まで  
棒高跳びは 競技開始90分前～60分前まで
  - ・招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
  - ・招集所での受付は本人が行う。このときナンバーカードとスパイクの確認を行う。(ピンの長さは、トラック競技他9mm以下 走高跳12mm以下)
  - ・四種競技に参加する競技者は最初の種目を一般の種目と同様に行い、2種目目、3種目目については現地(ピット)で行う。なお、最終種目においては、招集を行い、レーン確認と腰ナンバーを受け取る。
7. リレー
  - ・オーダー用紙はプログラム記載のオーダー用紙提出時刻までに、招集所へ提出する。
  - ・競技者はスタート20分前までに各スタート地点に集合する。
  - ・リレーのナンバーカードは、プログラム記載の個人番号とする。
8. ナンバーカード
  - ・胸と背に確実にとめる。ただし、跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
  - ・白のB5版の大きさの布に、男子は黒字、女子は赤字で記入。  
文字の高さは12cm、幅は5cm以上とし、飾り文字は使用しない。
  - ・トラック種目・リレーのアンカーは右腰に招集で受け取った腰ナンバーをつける。
9. 計測  
トラック すべての競技者のタイムを計測する。  
ただし中長距離種目は競技進行上制限タイムを設け、下記の時間を超過した場合はただちに競技を終了する。

共通	800m	1500m	3000m	1年男子1500m 1年女子800m
男子	2分30秒	5分00秒	10分40秒	5分40秒
女子	2分50秒	5分40秒	—	3分00秒

電気計時 全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。同タイムの場合、写真を拡大し細部まで読みとり決定する。それでも決定できない場合は抽選とする。

フィールド 計測ライン・バーの上げ方

	男 子	女 子
走 幅 跳	5m30(共通) 4m20(1年)	4m10(共通) 3m80(1年)
砲 丸 投	1 0 m 0 0	9 m 5 0
走 高 跳	1m60 (5cm) 1m70 (3cm)	1m35 (5cm) 1m45 (3cm)
四種走高跳	1m45 (5cm) 1m65 (3cm)	1m20 (5cm) 1m40 (3cm)
棒 高 跳	3m00 (10cm) 4m00 (5cm)	

10. 予選通過

トラック 100m・200m・400m・800mは8名で決勝を行う。  
1500mは15名・3000mは18名で決勝を行う。

フィールド 走幅跳・砲丸投は3回の試技を行い、上位8名はさらに3回の試技ができる。

11. 表 彰 各種目とも8位まで賞状を授与する。競技終了後、係員の指示に従い表彰待機場所（メインスタンド下中央）に集合すること。

12. 開・閉会式 開・閉会式は本部前にて行う。（競技者はスタンドにて参加）  
開会式は7月22日（日）8：45より行う。

13. 応 援 応援・付き添いはフィールド内や競技場内には入ってはならない。  
スタート時の応援は禁止する。  
応援席最前列の手すり付近の応援は禁止する。  
メインスタンドへの、のぼり旗・応援横幕の設置は禁止する。

14. その他

- ①競技場の利用のしかた
  - ・競技者は指示された場所・通路を使用し、フィールド内や立ち入り禁止区域には絶対に入らない。
  - ・開門前には競技場には入らない。整列をして待つ。
- ②競技者の控え場所
  - ・スタンドを利用し、所持品は各校で管理する。更衣室は更衣のみに使用する。
- ③決勝進出で抽選が必要な場合アナウンスをよく聞き速やかに番組編成に集合する。
- ④グラウンド以外はスパイクの使用を禁止する。
- ⑤ゴミは各自で持ち帰ること。
- ⑥スタートについて
  - ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。四種競技は、各レースで2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
  - ・2018年度日本陸上競技連盟競技規則第162条5「スタートにおける警告」に関する2018年度改正ルールは適用せず注意にとどめる。

